

令和6年4月26日



# 学校だより 5月号

横浜市立瀬谷さくら小学校  
校長 場家 誠

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

(知) 困難なことにもあきらめずに挑戦する子に育てます。

(徳) 物事の善悪をきちんと判断し、辛抱と我慢のできる子に育てます。

(体) 自分や人の命を大切にする子に育てます。

(公) 小さなことでも、社会に役立つための行動ができる子に育てます。

(開) 様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会への視野を広げる子に育てます。

## 「もっと…、もっと…、もっと…」

校長 場家 誠

新学期が始まって3週間が過ぎました。

クラスの仲間が変わり、過ごす教室が変わり、担任や専科の先生が変わり、子どもたちの多くは、毎日ドキドキワクワクしながら学校生活を送ってきたことでしょう。そんなドキドキワクワクは「楽しさ」につながりますから、とても大事です。ないよりはあった方がいいに決まっています。しかし、楽しいばかりに、テンション高く過ごす日が長く続いてしまうと、知らないうちに心と体が疲れてしまうことがあります(それは大人であっても同じです)。

この後大型連休もはさみますので、しばらくは子どもたちに疲れた様子が見られないか、全職員で、注意して見ていきたいと思えます。

さて、右にある「こんなことを つぶやくようになるといいね」の表は、年度末に、職員の間で検討を重ねた上で作成しているものです。毎年、学校教育目標の実現度合いを探る際の指標になるように考えているのですが、今年度のは過去3年と比べて、大きな違いがあります。これまでは、右側のつぶやきの方をバージョンアップさせてきましたが、今回は、左側の学校教育目標の方にも、少し言葉を加えることにしました。それが「もっと」です。

今年度は、様々な教育活動を通して、子どもたちが、もっと自分のことを大すきになって、友だちのことももっと大すきになって、そして、このまちのことももっと大すきになることを目指します。

そんな学校教育目標の実現のためにも、引き続き保護者の皆様や地域の皆様に、あたたかなご支援ご協力をいただければ幸いです。

5月もどうぞよろしくお願いいたします。

### 令和5年度 こんなことを つぶやくようになるといいね

**自分大すき** 「やってみようかな」「できた、わかった」  
「こうしたらできるかも」「OOが成長した」

**友だち大すき** 「OOさん、いいね」「いっしょにやろう」  
「困ってる?大丈夫?」「話を聞いて」  
「聞いてもらえてよかった」

**このまち大すき** 「OOさんありがとう」「教えてもらってうれしい」  
「まちの人に伝えたい」「このまちにはOOがあるね」



### 令和6年度 こんなことを つぶやくようになるといいね

**(もっと)自分大すき** 「やってみよう」「できた!わかった!」  
「やってみたよ!見て!」「うれしい!」

**(もっと)友だち大すき** 「OOさん、すごい!」「一緒にやろう」  
「がんばろう」「聞いてくれてよかった」

**(もっと)このまち大すき** 「応援してくれてありがとうございます」  
「OOさんに伝えたい」  
「このまちのOOがいいね」